

お誕生日おめでとうございます!

7月 8日 古門 貴美子さん	8月 27日 上西 貴広さん	11月 11日 北村 進さん
7月 13日 加納 晴美さん	9月 7日 林 純平さん	12月 14日 高橋 由香さん
7月 20日 鈴木 七瀬さん	10月 18日 横山 浩之さん	12月 18日 前川 智恵子さん
7月 23日 大島 純一さん	10月 19日 尾方 龍之介さん	12月 22日 田崎 薫さん
7月 28日 長谷 江利子さん	10月 20日 竹中 知樹さん	12月 22日 多母髪 寿平さん
8月 2日 鍛冶 悦子さん	10月 23日 福井 明日香さん	
8月 18日 妻鹿 妃佐子さん	10月 23日 井上 美智子さん	

令和2年度新人職員紹介



久保田 支援員

4月から姫路暁乃里で働かせていただく事になりました、岡山県出身の久保田直樹です。関西福祉大学では教育学部で幼児教育について学びました。子どもの頃から身体を動かす事が大好きで、様々なスポーツをやってきました。また、仕事の面でもたくさんの事を学び、色々な事に挑戦したいと思っています。まだまだ分からない事だらけですが、精一杯頑張っていきますので、ご指導よろしくお願いします!



南野 支援員

姫路暁乃里でアルバイトとして勤めさせていただいていましたが、正規職員として本年度からオリオンあなせで働かせてもらう事となりました、南野いふです。新しくできた事業所でのスタートとなりました。日々、どのように支援や声掛けを行えば子どもたちが次の行動に移る事ができるのかを考えて支援しています。これからもより良い支援を行い、子どもたちから信頼される職員となれるように頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



石橋 支援員

4月からオリオンまがたで勤務させていただいております、石橋奈生子と申します。関西福祉大学では教育学部で幼児教育について学びました。子どもたちの笑顔が多くなる支援方法、より良い生活が送れるような療育内容を日々学んでいます。今後子どもたちが笑顔で過ごせるよう、邁進してまいりますので、よろしくお願い致します。



田口 支援員

昨年度2月よりチャレンジにて勤めさせていただいております、田口勝也と申します。長く児童福祉施設の事務業務を行ってまいりましたが、心機一転生活支援員とし日々学んでいます。利用者さんに対する謙虚な気持ちを忘れず、職員間のチームワークを大切にされ自己研鑽に努められている法人の皆様と共に生涯現役を目指し頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

皆様、天候の移り変わりが激しい梅雨をいかがお過ごしになられたでしょうか?

毎年ながら春から夏へと季節が巡る中で、利用者さんの体調面に特に気を配りながら支援を行っています。

5月から継続して強度行動障害に対する支援方法を学ばせていただいております。また、今年は新型コロナウイルスが世界規模で蔓延し、日本でも『コロナ禍』という言葉が、頻りにテレビやラジオで流れていました。

毎年のGWには長期帰省されていた利用者さんの予定もなくなってしまい、保護者の皆様方は寂しい思いを募らせたかと思います。新型コロナウイルスの第2波に備え、私たちも感染症対策について職員会議で最善の方法を再確認しました。これからも常により良い方向へ変化していき、利用者さんの生活の質の向上に努めていきます。

本年度12月に予定しておりました「ふれあいコンサート」は新型コロナウイルスの影響を鑑みて、誠に申し訳ございませんが、中止させていただきたく思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

職員一同

2020年 8月号 チャレンジ

社会福祉法人 五倫会 指定障害者支援施設 姫路暁乃里

〒671-0111
姫路市の形的町3558番地
TEL 079-247-9797
FAX 079-247-9898
URL <http://gorin-kai.com/>

お花見

今年も予定していた市ノ池公園への観桜会は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。利用者さんはとても楽しみにされていたのに残念です。その代わりに天気の良い日に少人数に分かれ、太陽の郷の桜を見に行きました。

お昼は姫路暁乃里の芝生グラウンドでごりんや特製のお花見弁当を美味しく食べました。利用者さんの笑顔がたくさん見られました。



GW

「いつもなら家に帰っているのに…」
緊急事態宣言で今年のGWは家に帰らず、全員施設で過ごす事になりました。

外出、外泊ができない利用者さんのため、ステイホーム企画を考えました。ある日はマクドナルドのハンバーガーとナゲットを食べました。紙袋をただで「あっ!」「やったー!」と満面の笑みで頬張っていました。別の日にはホットプレートでクレープ生地を作り、利用者さんにクリームやフルーツをトッピングしていただきました。自分好みのクレープを作り楽しく、美味しく食べました。



姫路暁乃里での新型コロナウイルス感染症対策

5月21日に、兵庫県に対する新型コロナウイルス特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が解除されました。幸いにも当施設の利用者さん及び職員に感染は見られませんでした。まだまだ予断は許されない状況です。施設では3月より新型コロナウイルス感染予防対策として、以下の感染予防を行っております。

- 職員は出勤前、出勤時に検温を行い、37.5℃以上の熱がある場合は出勤を行わない。
- 来所者や業者は玄関で検温を行い、発熱がある場合は入館を断る。
- 館内の消毒を毎日9時、11時、15時、17時、19時にエタノール、界面活性剤にて行う。
- 定時の換気を行い、毎食前に手洗い、アルコール消毒を実施する。

これらの対策は、緊急事態宣言が解除された現在でも継続して行っており、来たる第2波、第3波に備えて油断する事なく職員一丸となり、立ち向かっていきたいと思っております。

五倫会主催の新型コロナウイルス感染症対策研修会

7月7日に五倫会主催の新型コロナウイルス感染症対策研修会を開催しました。兵庫県知的障害者施設協会播淡地区の役員施設の管理者・職員が計21名参加され、講師に医療法人全人会 仁恵病院の事務次長 中島明宣様、看護部長 八杉利美様をお招きし、ご講演いただきました。

事務次長 中島様からは、院内感染時の環境配慮、動線の確保、清潔・汚染場所の空間分け等を迅速に対応し、感染拡大防止に尽力されたというお話がありました。職員の勤務体制については、勤務可能な職員が限られていた事もあり、感染症空間は少数での勤務体制をとっていました。職員の精神的疲労を考慮して、超過勤務をさせないように変則的な勤務で乗り切る事ができました。物資については事前に充分な量を確保していたため、マスクや防護服不足に陥る事はなく、取引業者とも人と人が接触しないよう、駐車場で受け渡しをするなど納品方法を工夫する事で困る事はありませんでした。

看護部長 八杉様の講演では、感染症の発生から終息までの時系列での説明、陽性患者の症状一覧、感染防止対策、防護服の着脱（実践）、保健所の対応等細かく説明していただき、情報把握、初動の大切さを教えていただきました。仁恵病院では計11名の陽性患者に一人ひとり症状の違いがあり、重症患者は「意識障害、高熱、肺炎、呼吸困難」等が見られました。陽性患者に共通して現れる症状として、微熱、咳嗽、酸素飽和度（SPO2）の低下が多く確認されました。最後に、二次感染や感染拡大しないように感染源の特定は大切ですが、決して感染者に対して責任追及にならないようにしてほしいと言っておられました。

研修を受講し、病院と施設ではクラスター発生時の対応は少し違いますが、共通点も多く、事前にシミュレーションをしておく事で、実際感染した場合に迅速に対応できる事を再認識し、物資も充分な量を準備していく必要性も感じました。

今回の研修で講演していただきました医療法人全人会 仁恵病院 事務次長 中島様、看護部長 八杉様、お忙しい中、貴重な情報提供をしてくださり、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染予防対策の豆知識

6月19日に、厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」がリリースされました。このアプリをお持ちのスマートフォンにインストールすると、近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保しながら、感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受ける事ができます。接触の可能性をいち早く知る事はご自身、ご家族、周囲の方々の安心安全を確保するための対応を速やかに取る事が可能になるという事です。そして多くの方がインストールする事により、社会全体として急速な感染拡大を防ぐ事ができます。よろしければ是非お手持ちのスマートフォンに入れていただけたらと思います。

こちらから
ダウンロード
ができます→



強度行動障害 法人研修



今年度5月から法人全体で「強度行動障害や自閉症の支援のあり方」についての、法人内で研修する機会を作っています。

社会福祉法人 北摂杉の子会 人材育成研修室スーパーバイザー 堀内 桂氏を講師にお招きし、月に一度、利用されている強度行動障害や自閉症の利用者さんへの支援、考え方を学んでいます。

5・6月のテーマとしては「強度行動障害のメカニズム 自閉症の脳の仕組み」「どんな支援配慮が必要か」についてでした。

研修は、強度行動障害や自閉症の利用者さんの「脳の仕組み」「言葉の捉え方」「記憶のつながり方」などは、記憶脳が関係しているため、言葉で伝える情報よりも絵など視覚的に得る情報のほうが、より理解が強いと考えられているという内容でした。

強度行動障害の利用者さんへの支援には、構造化での環境整備や話し言葉ではなく視覚的なコミュニケーション法が有効であると分かりました。タイムスケジュールの提示、「予告支援」を活用して事前に予告する事で、これら予期不安の軽減が利用者さんの安定に繋がると考えられます。

この学んだ事を全職員が共有して日々の支援に活用していきたいと思っております。

5回目からの研修では実践演習もあり、現在施設入所されている強度行動障害や自閉症の利用者さんの支援方法を学ぶのに、良い機会になっています。より一層、日々の生活に活かせるよう勉強していきます。

これらの研修の中で学んだ事を生活に還元していき、利用者さん一人ひとりが、暮らしやすい環境作りに励みたいと思っております。



グループホーム チャレンジ

女子会♡

グループホーム チャレンジでは、新型コロナウイルスの流行で長らく外出を控えていましたが、先般の緊急事態宣言の解除を受け、チャレンジ女子会を約半年ぶりに開催しました。皆、久しぶりの女子会を心待ちにしており、出発前からウキウキしている様子でした。

皆に何をしたいか聞くと、満場一致で、美味しいランチを食べに行きたい!との事。

目的地は、高砂市で客が絶えないと噂の「洋食屋」に決めました。

各自メニューを見ながら、じっくり食べたいものを選び、思い思いに



ランチを頬張っていました。食後のコーヒーを飲み終えると、皆で手を合わせて「ごちそうさま」。

店員さんの温かな笑顔に見送られて、店を後にしました。



日清医療食品

いつもお世話になっております。日清医療食品です。もうすぐ夏本番を迎えます。夏本番前の季節の変わり目に体調を崩され、既に夏バテの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

夏バテは、普段の食生活でしっかりと栄養を補う事が大切です。利用者の皆さんには元気に暑い夏を乗り切ってもらうため、栄養課では献立に旬の夏野

菜を取り入れ、食事面からサポートしていきたいと思ひます。

利用者の皆さんの「おいしかった」という言葉と残食ゼロを目指して、この夏も一層努力していきたいと思ひます。

こどもの日のメニュー

5月5日にこどもの日のメニューを考案し、提供させていただきました。

今年はハンバーガーをメインに利用者の皆さんが好きそうなチキンナゲット、フライドポテト、スパゲッティサラダ、エビチリなどを入れ、汁物はコンソメスープ、デザートはみかんゼリーを作りました。

利用者の皆さんに喜んでもらえるよう、料理を創意工夫しながら考えました。「おいしい!」という声を聞けて本当に良かったです。



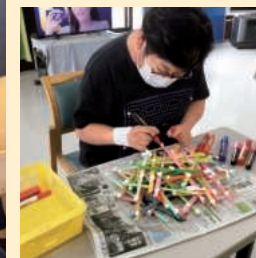
障害福祉サービス事業所
(生活介護/就労継続支援B型)

太陽の郷

生活介護

4月から創作活動に力を入れ、「みんなで作ろう!!」を目標に、貼り絵では絵を描く、紙を破る、貼る等、個々のできる事に合わせて作品作りに取り組んでいます。また、個々の作品では、絵画や粘土の作品を作っており、色合いや形など個性が出た作品に仕上がっており、今までにない一面が見られています。

完成した作品は、施設内に展示しておりますので、来所された時には、是非観て回ってください。



就労継続支援B型

上半期はコロナウイルスの関係もあり、施設内外の作業もコロナウイルス対策を行いながら、利用者さんに取り組んでももらいました。

また、施設内では布マスクを制作しており、大好評で現在は夏使用のマスクを随時制作しております。

これから暑くなるので、夏使用の爽快マスクなども制作しており「施設での販売」「ごりんや店舗での販売」「はーとふるの市役所での販売」などもしているので是非一度ご覧ください。



ごりんや

的形駅前にオープンして、早3年が経つ、お惣菜のお店ごりんや。利用者さん2名が接客・洗い物・清掃をこなし、地域の方々に愛されるお店作りを目指して日々スキルアップを図っております。

ごりんやではコロナウイルス感染拡大防止の為、アルコール消毒の設置・店内アルコール除菌の徹底・店内飲食スペースの間引き・換気の徹底・空気清浄器を設置し、お客様が過ごしやすい環境作りを行っております。



放課後等デイサービス オリオン

オリオンは、放課後等デイサービスとして小学校就学から高校卒業するまでの子どもたちが、放課後や長期休暇期間などに利用する施設です。利用する子どもたちの中には、それぞれが抱える難しさがあります。そこで、私たちは少しでも明るく楽しく笑顔で過ごせるように、学習・作業・活動・レクリエーションなど様々なプログラムを提供しています。

子どもたちにとって「学び」とは、一体何なのか。「学び」とは、学習のほかに「あそび」や「経験」、「体験」などの意味も含まれていると思います。

ここでの「学び」は、机に向かい個々にできる範囲の学習だけではなく、よりよい生活や進路に向けての療育に加え、「あそび」からたくさんの事を経験し、その「体験」から「学び」に繋がっていきと考えています。そのために必要な環境を整え、楽しい時間や空間の中で子どもたちと一緒に活動しています。

具体的な内容としては、簡単に作れるお菓子作りや、毎月カレンダー制作、母の日や父の日のプレゼント工作などの制作活動や、子どもたちがしたい遊びを自由に行ってもらう自由活動、プールでの水遊びや体操、障害物競走などの運動活動に加え、近隣の公園に行って遊んだり、長期休暇期間ではお出かけとして姫路セントラルパークなどにも行ったりしています。

実際に、母の日や父の日などのプレゼントをするときは、子どもたちにとっては、少し恥ずかしさもあるようですが、保護者の皆様は嬉しいと笑顔で受け取ってくださいました。また、子どもたちからも「オリオン楽しい」などの嬉しい言葉をもらっています。

今後も、子どもたちの無限の可能性、その個性を伸ばしていきながら、子どもたちだけでなくご家族の方も笑顔で楽しく過ごしていただけるよう職員一同尽力してまいりますので、よろしくお願い致します。

令和2年度は、コロナウイルスとの闘いから始まりましたが、日々、感染予防（検温、消毒など）に細心の注意を払いながら、事業継続に努めているところです。

新しい事業所で、気合を入れて頑張ろうとした矢

先に新型コロナウイルスが感染拡大をし、4月7日（火）東京、千葉、埼玉、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県に対して、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。

新年度が始まったばかりのタイミングでこのような事態は、支援側としても利用側も、不安・やりたかった事ができなくなる残念な思いがありましたが、通ってくる児童は元気いっぱい安心してました。

今まで“当たり前だった日常”が制限され、児童は休校の長期化で生活リズムの乱れ、外出制限でストレスが溜まってきていると思います。職員も外出できないストレス・いつまで続くのか分からない休校対応などと闘いながら、利用者のケアを“コロナに負けないよう”頑張っています。

今後も例年以上に皆様のお力、地域との和、協力をいただきながら、地域に根ざし、共生できる施設として努力してまいりますので、更なるご支援を心からお願い申し上げます。

「放課後等デイサービス オリオンあなせ」が4月1日にオープンしました。これもひとえに多くの方々の厚いご支援の賜物と深く感謝申し上げます。



- 【所在地】** 〒672-8030
姫路市飾磨区阿成植木858番地
- 【利用定員】** 10人/日
- 【利用対象者】** 障がいの小学生～高校生の放課後等デイサービスの支給決定を受けている方が対象。
- 【休業日】** 日曜日、祝日(一部の祝日を除く)、年末年始
- 【電話番号】** 080-8349-5599

オリオンあなせ



オリオンまるとがた